

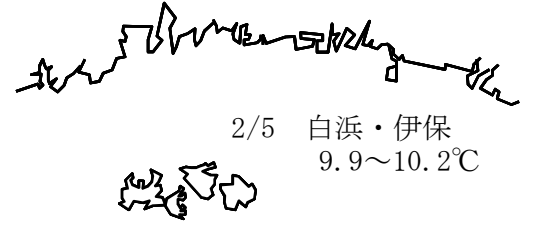
# 兵庫県のり漁場環境情報 (西播海域 12号)

平成31年 2月 6日発行  
兵庫のり研究所

窒素は地先漁場で概ね  $2 \mu\text{g-at/L}$  台、沖合漁場で  $2 \sim 3 \mu\text{g-at/L}$  台の値となっています。コシノディスカスが全般に見られていますが、発生量は前回 (1/28) 調査と比較し減少しており、それ以外の珪藻はほとんど確認されない状況です。

(**栄養塩、珪藻**) コシノディスカスは、沖合の高島上および加島西漁場で海水1Lあたり200~250細胞が最多であった。それ以外の地先・沖合漁場とも海水1Lあたり30~130細胞、わずかに確認される程度の漁場も一部あり全般に減少している。それ以外の珪藻は全域においてほとんど確認されないが、近隣海域(香川県東部や小豆島周辺)の栄養塩が大きく低下しており、この海域においても栄養塩は漸減傾向にある。

## 水温図



|       |    | 前回値  | 今回値  | 平年値  | 昨年値  |
|-------|----|------|------|------|------|
| 西播地先  | 窒素 | 3.6  | 2.6  | 1.3  | 2.1  |
|       | リン | 0.49 | 0.33 | 0.22 | 0.27 |
| 家島・坊勢 | 窒素 | 4.1  | 2.8  | 1.8  | 3.0  |
|       | リン | 0.46 | 0.35 | 0.36 | 0.46 |

(1/28) (2/9)

## 栄養塩 (窒素) 図

平成31年 2月 6日調査

